

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ヒトトキ			
○保護者評価実施期間	令和7年2月6日 ～ 令和7年2月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和7年2月6日 ～ 令和7年2月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもや保護者等のニーズや課題を客観的に把握した上で児童発達支援計画を作成しています。	日頃のこどもの様子を客観的に把握し、保護者等との定期的なモニタリングや面談の機会を設けることにより保護者等と十分な共通理解を図り児童発達支援計画を作成しています。	今後も各職員間での情報共有や業務の振り返りを行い、こどもの最善の利益に繋がるよう配慮した上で支援を行うよう努めます。
2	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っています。	保育園やこども園、幼稚園等との併行利用のこどもの受入れや、関係機関や移行先との相互理解を図ることにより、移行先での生活に視点を置いた支援を行っています。また必要に応じて保育園等への個別訪問を行っています。	現在実施している事業所での支援に加え市立保育園の交流保育、園庭開放等について保護者等へ情報提供をしていきます。
3	LINEの活用や英語対応の実施をしています。	電話やLINEの活用や英語対応を実施することにより、日頃の欠席連絡や面談日程の調整等、保護者等が気軽に意思の疎通や情報伝達をしやすいための配慮をしています。	毎月のおたよりやLINE配信に加え、ホームページやインスタグラム等により保護者への情報提供や周知を行っています。

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル等の各種マニュアルや非常災害時を想定した避難訓練等の実施に関する周知について改善が必要と思われます。	現在も各種マニュアルについては策定した上で避難訓練等も実施していますが、それらの内容や詳細な実施状況について保護者への周知が不足していたと考えられます。	各種マニュアルの策定や訓練等の実施状況や内容等について、毎月のおたよりの配信や日頃の保護者との情報共有の中で適切な周知に努めます。
2			
3			